

テレビやカメラを  
渡辺酒造店が寄贈

地元の古川中へ

飛騨市古川町壱之町の渡辺酒造店は十四日、地元の古川中学校に大型テレビ一台とデジタルカメラ八台、カメラレンズなどを寄贈した。同社は十六銀行(岐阜市)で私募債を発行する際、手数料の一部を寄付として学校へ贈る事業「じゅつろくCSR私募債『つながるじゅつろく』」を活用。



渡辺久憲社長(四つら)が学校を訪れ、生徒会長の齋藤優太さん(二五)に二年間に目録などを手渡した写真。渡辺社長は同校卒業生。向川原真郷校長が恩師にあたるという「後輩を応援し、少しでも教育に尽力できれば」とあいさつ。齋藤さんは「大事に使わせてもらいます」と感謝を述べた。

(浜崎陽介)